



西条市立西条図書館ヤングアダルトコーナーフェア案内

YAおすすめ本 2024年8月

フェアテーマ

『恐怖』



暑い夏がやってきました。

毎年ですが、年々暑くなっている気がしますよね。

そんなあなたに朗報です。西条図書館ヤングアダルトコーナーではぞくぞくする本を揃えてみました。手軽に本でクールダウン！

手に取ってみて下さい。

書誌提供：TRC図書館流通センター 書誌情報より



西条市立西条図書館

住所：西条市大町1590

TEL0897-56-2668

開館時間9：30a.m.~20：30p.m.

8月フェア『恐怖』おススメ本をご紹介



『恐怖文庫』で学ぶ中高生のための哲学入門』

日本児童文芸家協会 新星出版社 2023.3 /913/キ/

夏休みの終わり、子ども会のイベントで行われたお寺での百物語。ある男の子が怪談を話したすと…。家族みんなで田舎へ引っ越した男の子。それから1年もしないうちに家族全員を亡くし、獣医の女性に引き取られるが…。10分で読める「恐怖」のお話が9話のっています。



『呼んではいけない』

桐谷 直 PHP研究所 2023.9 /913/イ/

4年前、歩夏の一家は貴崎村に引っ越してきた。父母が美しい山村の景色を気には村の魅力をインターネットで発信していたが、村人たちは「これ以上よそ者が増えたら困る」と怒った。村には、「死者の名を呼ぶな」という掟があり…。



『5分後にゾットするラスト』

彩月 志帆 河出書房新社 2023.10 /913/リ/

気づいたときには恐怖のなか…。「幼なじみ「ごっこ」「首吊りトイレ」「ノモルス遺跡」「赤黒い月は鎌」など、ホラーを愛する作家陣による身も心も凍る怖すぎる全8篇を収録する。



8月フェア『恐怖』おススメ本をご紹介



『いまにヘレンがくる』

メアリー・ダウニング・ハーン

偕成社 2023.11 /933/Ⅱ/

母親の再婚で、教会だった家へと引っ越してきたモリーと弟のマイケル。だが、あらたに妹となったヘザーはふたりを受け入れようとしめない。そんなとき、モリーはヘザーが墓地の幽霊ヘレンに身をゆだねようとしていることに気づき、恐怖を感じながらも、妹を救おうとするが…。

『黒猫』



エドガー・アラン・ポー 立東舎 2023.10 /933.6/林/

不朽の名作が、いま新たによみがえる。エドガー・アラン・ポーの小説「黒猫」と、まくらくらまの描き下ろしイラストの珠玉のコラボレーション。小説としても画集としても楽しめる一冊。

『吸血令嬢カーミラ』



ジョゼフ・シェリダン・レ・ファニュ

ポプラ社 2023.7 /933/キ/

少女ローラのところへやってきた美しい令嬢カーミラとは？ 悲しい愛を描いた表題作と、魔性の魅力を持つ美しい人狼の物語「美しき人狼」の2編の極上ホラーを、児童文学作家があらたに再話。。



8月フェア『恐怖』おススメ本をご紹介



『世にも奇妙なストーリー 呪いの螺旋』

岩城 裕明 西東社 2019. 8 /913/3/

夕焼けに染まった屋上に女の子が1人。そばにいるのは、コンクリートに落ちた影だけ。彼女がいなくなったあと、残っていた影がむくりと起き上がり…。読んだ5分後に戦慄する、奇妙なショートショートを多数収録。



『5分で読書』

カドカワ読書タイム KADOKAWA 2021.10 /913/1/

通学路だけいっしょのしいちゃん。でも私はしいちゃんの顔を一度も見たことがなくて…。「通学路だけの友だち」をはじめ「4：44」「気配」など、怖い話全10編を収録。『カクヨム』掲載を加筆し書籍化。



『ジャンル特化型ホラーの扉』

闇 河出書房新社 2023.10 /913/2/

ホラーはなぜ怖いのか？ 人気作家陣の新作ホラーを「恐怖の根源」別に分類して収録。さらにホラーカンパニーによる魅力的な解説を掲載した、今までになかったホラーアンソロジー。

